



平成25年12月期 第3四半期
決算説明資料
(2013年度)

2013年11月5日

昭和シェル石油株式会社

注意事項

この資料には、当社グループ（当社及び連結子会社）の将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、経済情勢や市場動向、並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性がありますので、予めご了承下さい。

業績概要（2013年1-9月）

	2012年 1-9月	2013年 1-9月
	億円	
石油事業営業利益 (CCS*ベース)	203	231
エネルギーソリューション事業営業利益	-156	102
CCS*ベース営業利益	47	334
経常利益	-24	659
CCS*ベース経常利益	25	340
四半期純利益	-90	457
1株当たり四半期純利益 (円)	-24.1	121.5

(注)「その他」および「調整額」は石油事業に含む

* CCS: Current Cost of Supply (在庫評価の影響を除いたもの)

2013年1-9月 決算

- CCSベースの営業利益および経常利益は前年同期を大幅に上回った
- エネルギーソリューション事業営業利益は前年同期比で258億円の大幅改善

石油事業ハイライト

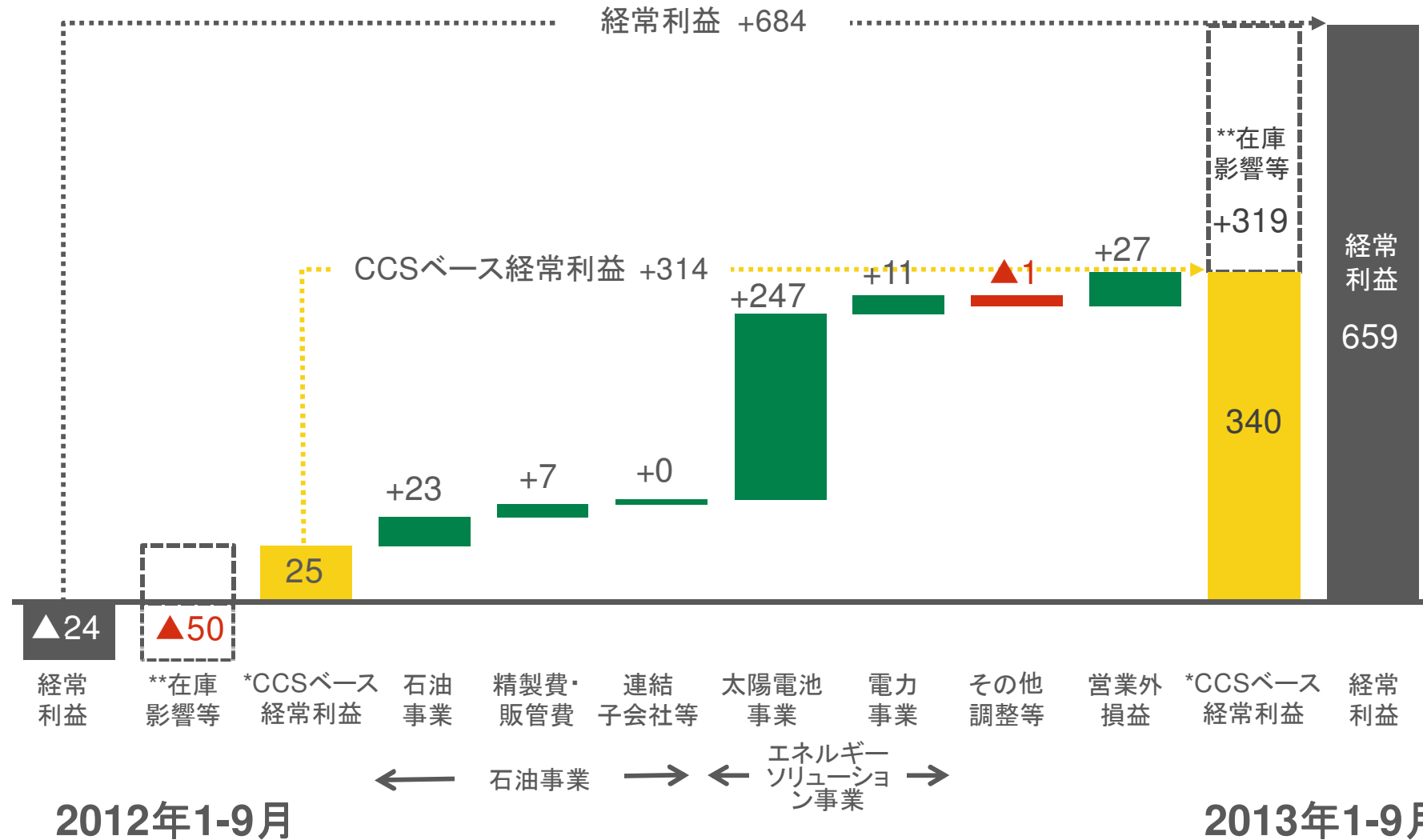
- 7-9月のCCS営業利益は前年同期比で減益となったが、1-9月累計では前年同期比で増益を確保
- 4-6月に低迷した国内燃料油マージンは、特にガソリンで大幅に改善。化成品マージンは引き続き堅調に推移し、生産量の最大化を維持
- 6~7月に実施した四日市製油所の定期修理を除き、グループ製油所はフル操業を維持

エネルギーソリューション事業ハイライト

- 7四半期連続で営業利益が改善
- 国内を中心に、年間計画に沿った形で順調にモジュール出荷が進捗
- 旗艦工場である国富工場のフル稼働に加え、休止していた第2工場も計画通りに7月に再稼働開始
- 安定した工場稼働をベースに、W当たり生産コスト削減は年間▲20%の計画に沿って順調に進捗

前年同期比 要因分析(経常利益)

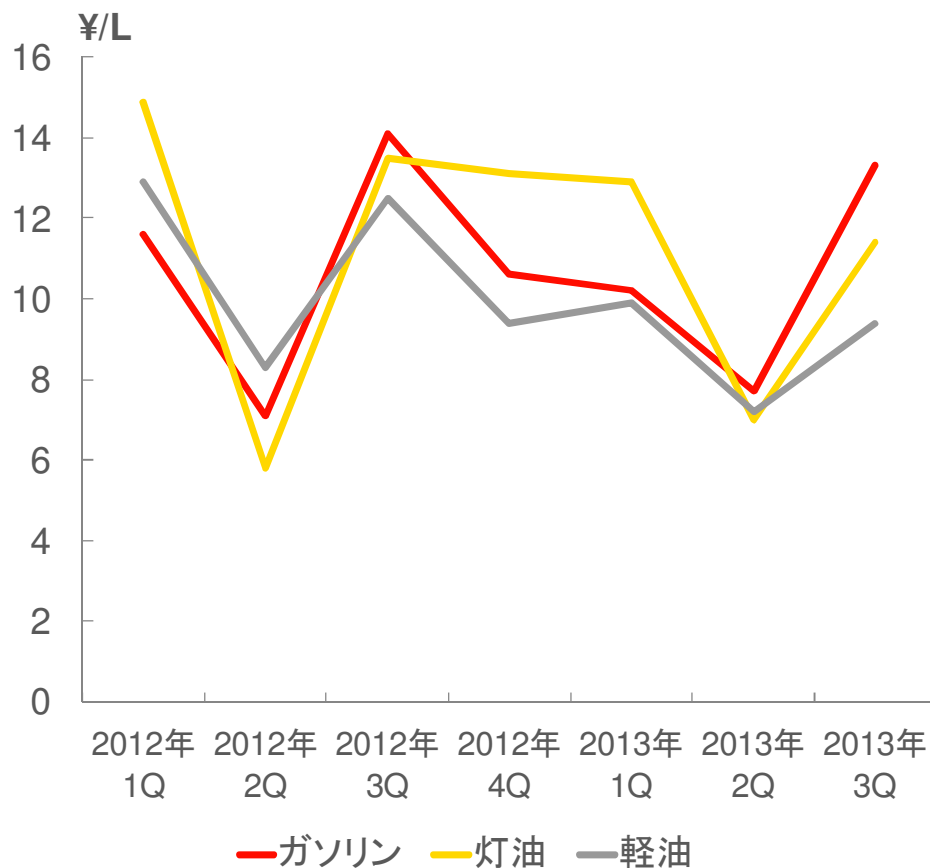
単位：億円



* CCS: Current Cost of Supply (在庫評価の影響を除いたもの)
 **「在庫影響等」には、たな卸資産の簿価切下げによる影響を含む。

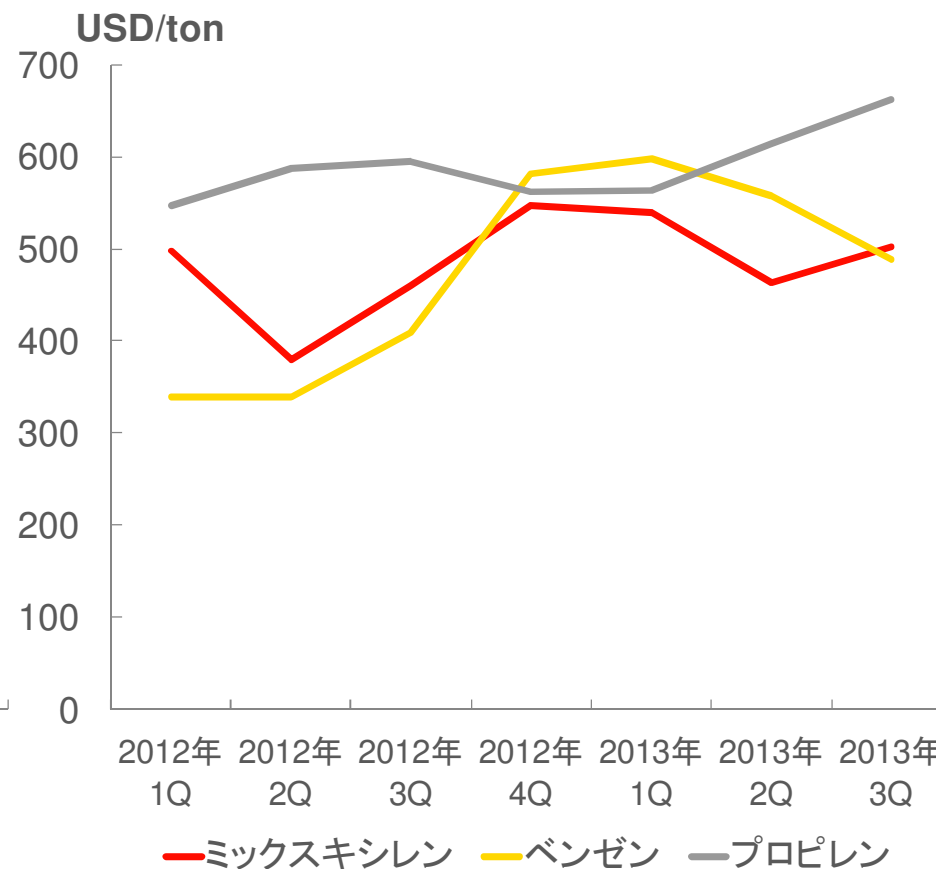
事業環境－石油事業

国内石油製品マージン



※ 国内スポット価格－原油通関CIF

アジア極東地域 化成品マージン



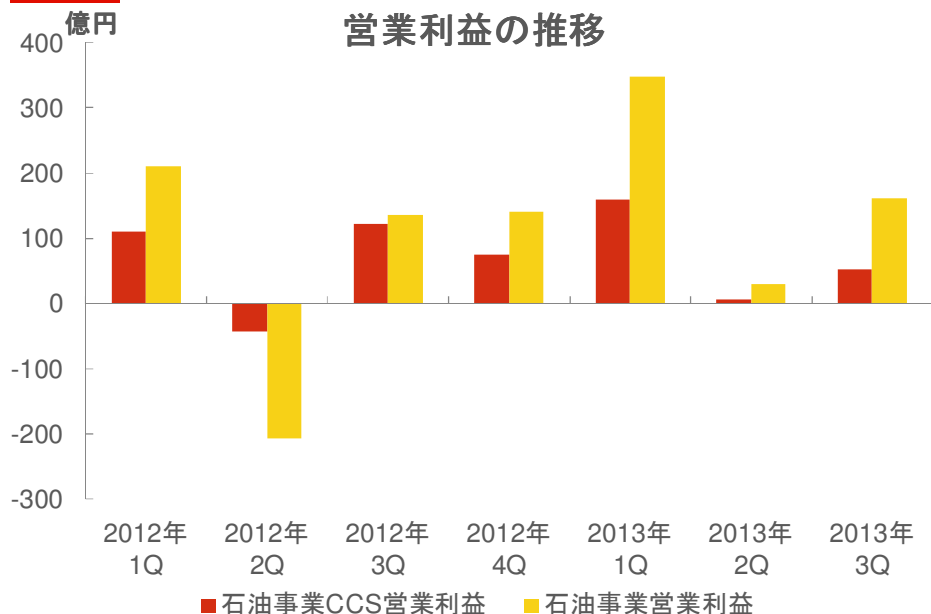
※ スポット製品価格－ドバイ原油スポット価格

- 第3四半期の国内燃料油マージンは、ガソリンを中心に第2四半期の水準より改善。
- 当社化成品販売の主力であるミックスキシレンは第2四半期からマージンが改善。総体的に化成品マージンは堅調に推移し、引き続き化成品の生産・販売最大化を行った。

2013年1-9月 業績概要



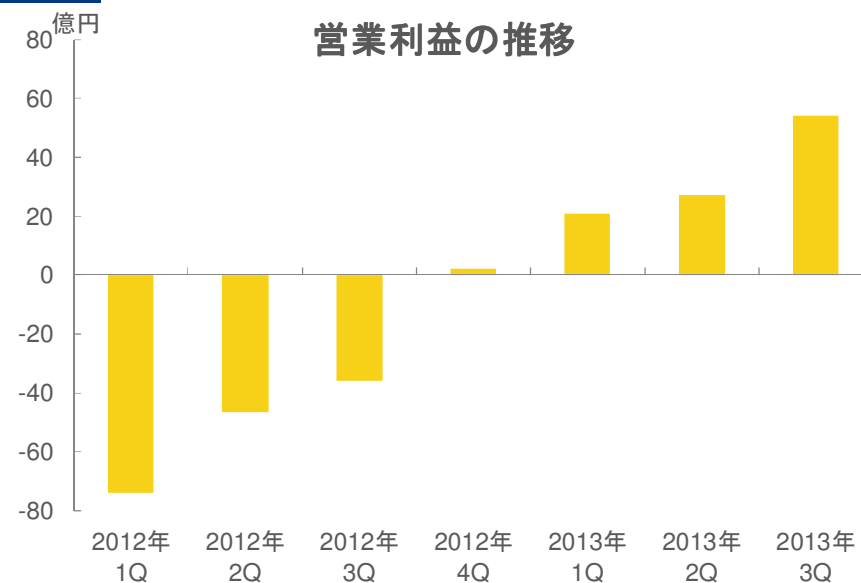
石油事業



- 第3四半期は第2四半期に比して燃料油マージンが改善したことを背景に、CCSベースの利益も改善
- 原油価格が上昇したことから、第3四半期の在庫影響額は上半期に引き続き利益押し上げ要因



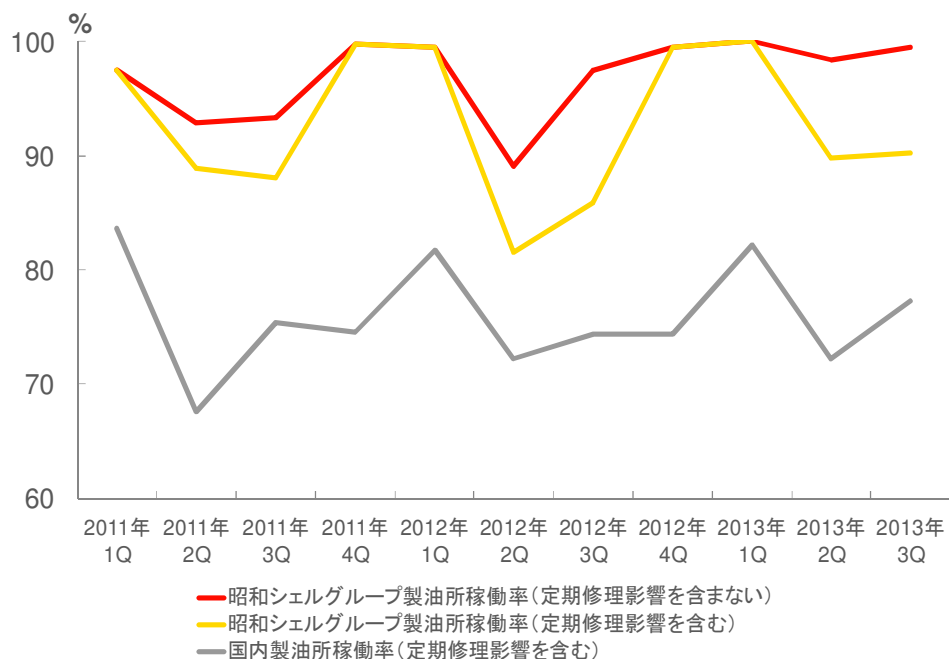
エネルギーソリューション事業



- 第3四半期営業利益は第2四半期比で倍増
- 電力事業は、GENEXおよび扇島パワーともに順調な操業を継続。夏季の旺盛な電力需要に対応
- 太陽電池事業は、堅調な国内販売および国富工場の継続的なフル稼働と順調な生産コスト削減を背景に、第2四半期からさらに収益を拡大

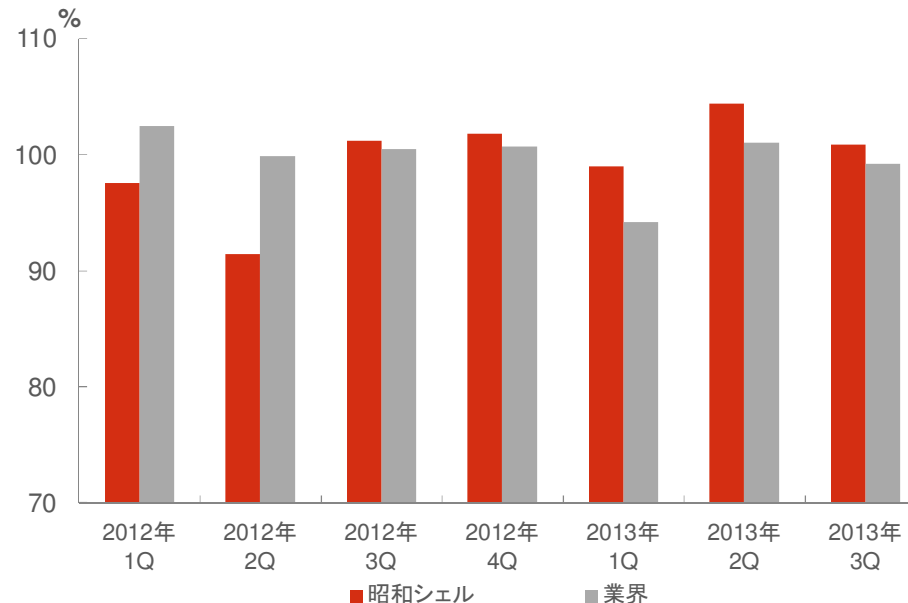
事業概況 2013年1-9月－石油事業

製油所稼働率



出典：石油連盟

4油種*国内販売数量の伸び率(前年同期比)



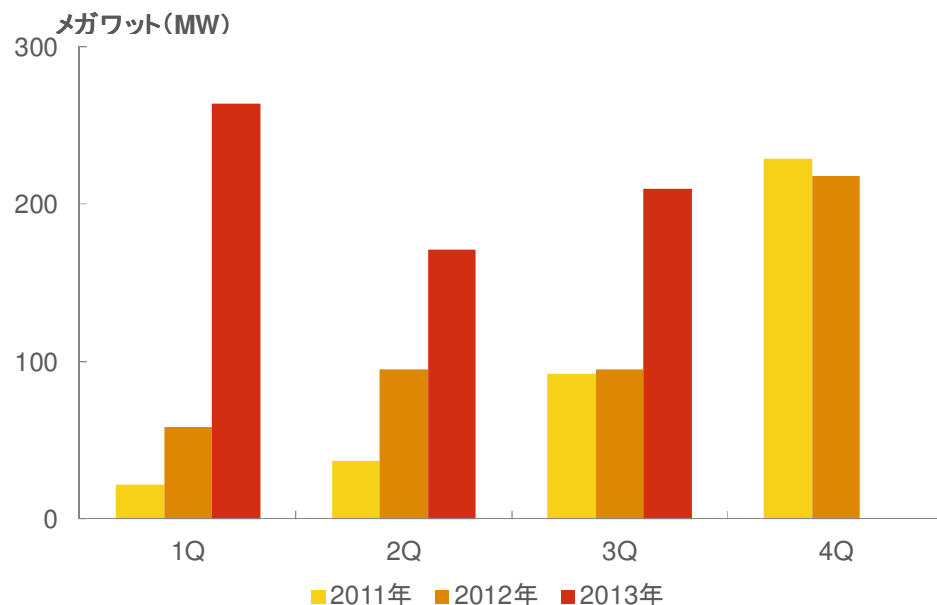
*4油種： ガソリン、灯油、軽油、A重油

出典： 経済産業省「資源・エネルギー統計」

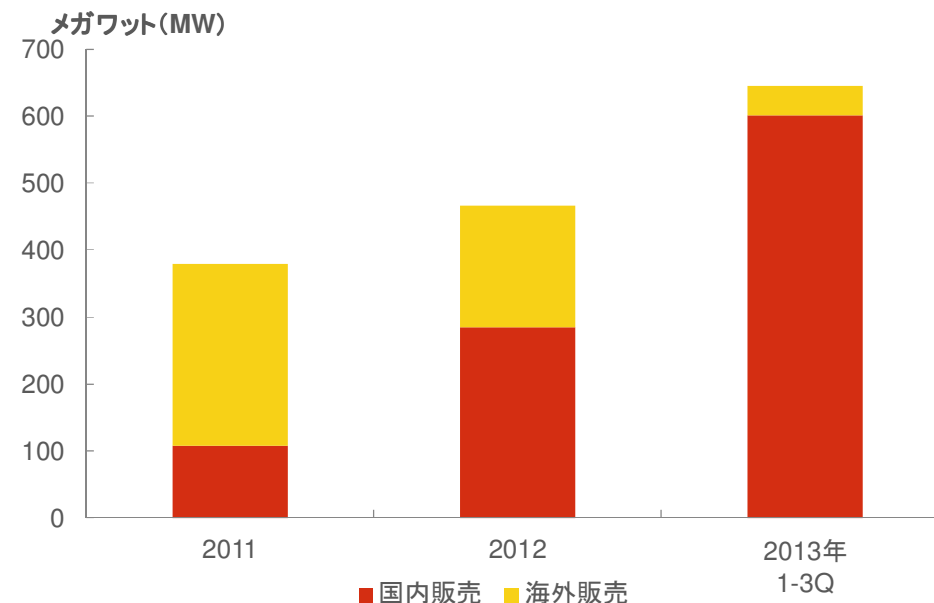
- 四日市製油所は残渣油流動接触分解装置*(RFCC)において、計画外停止の無い4年連続運転を達成。6~7月に実施した法定定期修理もトラブルなく計画通り完了。当該定期修理を除き、グループ製油所は第3四半期もほぼフル稼働を維持
- 比較的付加価値の高い燃料油であるガソリン、灯油、軽油などの4油種国内販売数量は、第3四半期も業界平均を上回る伸び率を記録。
- 国内への安定供給を確保したうえで、軽油などの中間留分を中心に製品輸出を積極的に実施

事業概況 2013年1-9月－太陽電池事業

四半期別 モジュール出荷数量



地域別モジュール出荷数量



- 上半期に引き続き、第3四半期のパネル出荷も前年同期比で大幅に増加し、第3四半期までに2012年度年間の出荷量を大幅に超過
- 引き続き、より収益性の高い国内市場に注力。全体の90%以上を国内市場へ
- 海外市場向けは、中・長期的な販売戦略の視点から選択的な販売を継続
- 第3四半期において、旗艦工場の国富工場はフル稼働を維持。年間20%を計画しているW当たりのモジュール生産コスト削減も順調に進捗
- 2012年末に一時休止した第2工場を7月より計画通り再稼働。10月より住宅市場をターゲットとしたスリム・軽量型新パネル”Solacis neo”の生産に移行

平成25年12月期連結業績予想

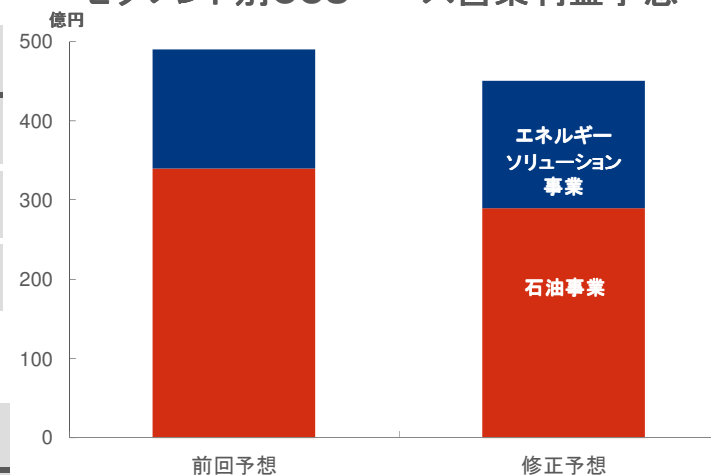
■ 原油価格および為替レート

		2013年度		修正値
		前予想(8月)	今回予想	
ドバイ原油価格	(USD/バレル)	102	105	3
為替レート	(円/USD)	95	97	2
	(円/EUR)	130	130	0

■ 連結業績予想

(百万円)	2013年度		修正値
	前予想(8月)	今回修正予想	
売上高	2,880,000	2,950,000	+ 70,000
営業利益	70,000	77,000	+ 7,000
※在庫影響	21,000	32,000	+ 11,000
※CCSベース営業利益	49,000	45,000	- 4,000
石油事業	34,000	29,000	- 5,000
エネルギーソリューション事業	15,000	16,000	+ 1,000
その他および調整額*	-	-	-
経常利益	70,000	77,000	+ 7,000
※CCSベース経常利益	49,000	45,000	- 4,000
当期純利益	48,000	54,000	+ 6,000

セグメント別CCSベース営業利益予想



<通期業績見直し修正の要因>

■ 石油事業:

第4四半期の国内燃料油収益は前予想を下回る見込み

■ エネルギーソリューション事業:

安定的な発電所運転をベースにした堅調な電力事業収益、太陽電池事業における順調な生産・販売活動による収益性改善

*「その他および調整額」の2013年度予想は、「石油事業」に含まれています。

Data Book

決算ハイライト (1-9月)

■ 原油価格および為替レート

		2012年度 実績	2012年度 1-9月実績	2013年度 1-9月実績
ドバイ原油価格	(USD/バレル)	109.0	109.6	105.0
為替レート	(円/USD)	79.8	79.4	96.8
	(円/EUR)	102.6	101.7	127.5

■ 連結損益計算書ハイライト

(百万円)	2012年度 1-9月実績	2013年度 1-9月実績	増減	前年同期比(%)
売上高	1,922,004	2,147,291	+ 225,287	+11.7%
営業利益	-291	65,362	+ 65,653	-
営業外損益	-2,140	623	+ 2,763	-
経常利益	-2,431	65,985	+ 68,417	-
※在庫影響	-4,991	31,960	+ 36,952	-
※CCSベース経常利益	2,559	34,025	+ 31,465	+1229.1%
特別損益	-659	2,687	+ 3,347	-
当期純利益	-9,098	45,769	+ 54,868	-

【注】カレント・コスト・オブ・サプライ(CCS)ベースの収益: たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

セグメント情報 (1-9月)

■ 2013年1-9月

(百万円)	石油事業	エネルギー ソリューション事業	その他	調整額	合計
売上高	2,042,435	98,617	6,239	-	2,147,291
営業利益	54,080	10,243	1,054	-15	65,362

■ 2012年1-9月

(百万円)	石油事業	エネルギー ソリューション事業	その他	調整額	合計
売上高	1,867,758	47,425	6,820	-	1,922,004
営業利益	14,114	-15,631	1,240	-15	-291

- ・石油事業：揮発油、ナフサ、灯油、軽油、重油、潤滑油、LPG、アスファルト、化成品等石油製品等の製造・販売
- ・エネルギーソリューション事業：太陽電池モジュールの製造・販売及び電力の卸供給
- ・その他：不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等

原油処理実績と販売数量実績 (1-9月)

■ 原油処理実績とグループ製油所稼働率

		2012年度 実績	2012年度 1-9月実績	2013年度 1-9月実績
原油処理実績	(千KL)	21,053	15,302	16,019
稼働率	(%)	91.6%	88.9%	93.3%

■ 製品別販売数量

(千KL)	2012年度 1-9月実績	2013年度 1-9月実績	前年同期比
揮発油	6,700	6,679	- 0.3%
ジェット燃料	1,658	1,395	- 15.9%
灯油	1,836	1,779	- 3.1%
軽油	3,713	3,869	+ 4.2%
A重油	1,181	1,261	+ 6.8%
C重油	1,468	1,007	- 31.4%
その他	2,949	3,033	+ 2.9%
国内販売合計	19,505	19,022	- 2.5%
輸出	396	1,054	+ 166.2%
総合計	19,901	20,076	+ 0.9%

決算ハイライト (7-9月)

■ 原油価格および為替レート

		2012年度 実績	2012年度 7-9月実績	2013年度 7-9月実績
ドバイ原油価格	(USD/バレル)	109.0	106.1	106.2
為替レート	(円/USD)	79.8	78.6	98.9
	(円/EUR)	102.6	98.3	131.0

■ 連結損益計算書ハイライト

(百万円)	2012年度 7-9月実績	2013年度 7-9月実績	増減	前年同期比(%)
売上高	611,116	731,387	+ 120,271	+19.7%
営業利益	10,583	22,106	+ 11,522	+108.9%
営業外損益	-514	-98	+ 416	-
経常利益	10,069	22,008	+ 11,938	+118.6%
※在庫影響	1,295	10,934	+ 9,639	+744.1%
※CCSベース経常利益	8,774	11,073	+ 2,299	+26.2%
特別損益	-1,769	-38	+ 1,730	-
当期純利益	3,492	15,738	+ 12,246	+350.7%

【注】カレント・コスト・オブ・サプライ(CCS)ベースの収益: たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

セグメント情報 (7-9月)

■ 2013年7-9月

(百万円)	石油事業	エネルギー ソリューション事業	その他	調整額	合計
売上高	696,429	32,906	2,051	-	731,387
営業利益	16,258	5,430	425	-7	22,106

■ 2012年7-9月

(百万円)	石油事業	エネルギー ソリューション事業	その他	調整額	合計
売上高	590,887	18,008	2,220	-	611,116
営業利益	13,644	-3,589	518	10	10,583

- ・石油事業：揮発油、ナフサ、灯油、軽油、重油、潤滑油、LPG、アスファルト、化成品等石油製品等の製造・販売
- ・エネルギーソリューション事業：太陽電池モジュールの製造・販売及び電力の卸供給
- ・その他：不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等

原油処理実績と販売数量実績 (7-9月)

■ 原油処理実績とグループ製油所稼働率

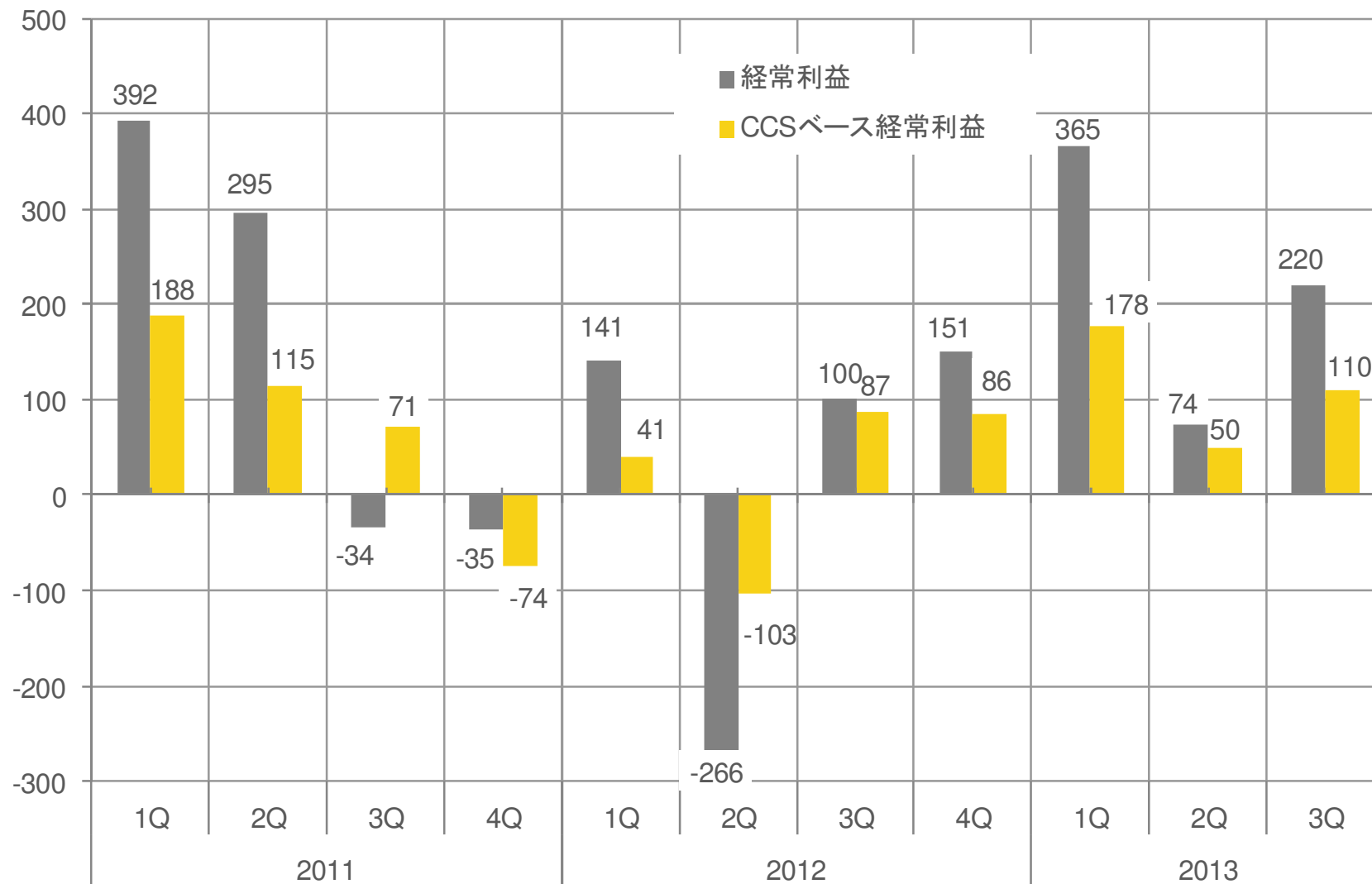
		2012年度 実績	2012年度 7-9月実績	2013年度 7-9月実績
原油処理実績	(千KL)	21,053	4,960	5,235
稼働率	(%)	91.6%	85.9%	90.2%

■ 製品別販売数量

(千KL)	2012年度 7-9月実績	2013年度 7-9月実績	前年同期比
揮発油	2,432	2,390	- 1.7%
ジェット燃料	555	460	- 17.0%
灯油	299	276	- 7.5%
軽油	1,323	1,356	+ 2.5%
A重油	339	409	+ 20.6%
C重油	498	294	- 40.9%
その他	960	1,003	+ 4.5%
国内販売合計	6,406	6,189	- 3.4%
輸出	135	522	+ 287.2%
総合計	6,541	6,712	+ 2.6%

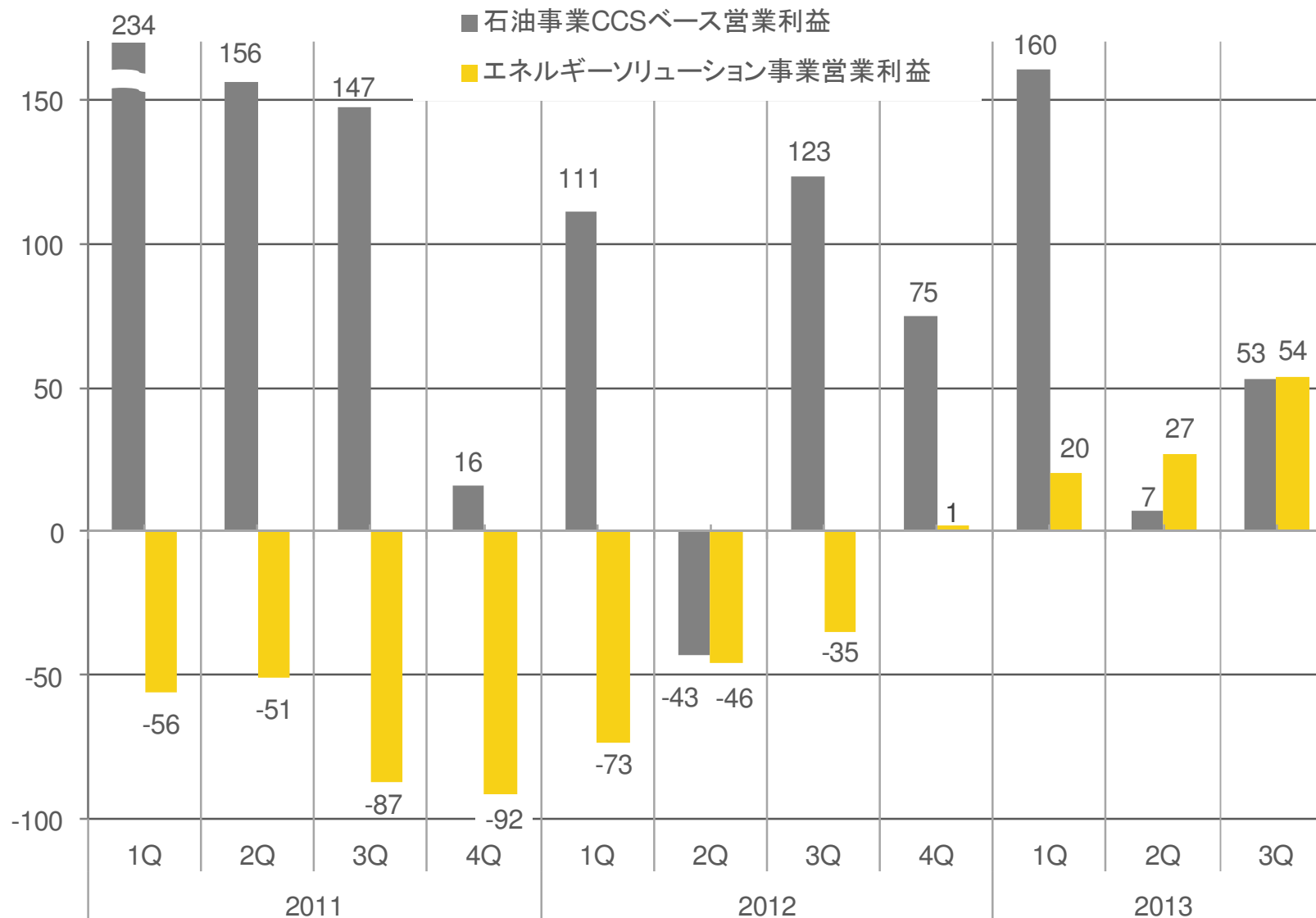
四半期別 経常利益の推移 (CCSベース)

億円



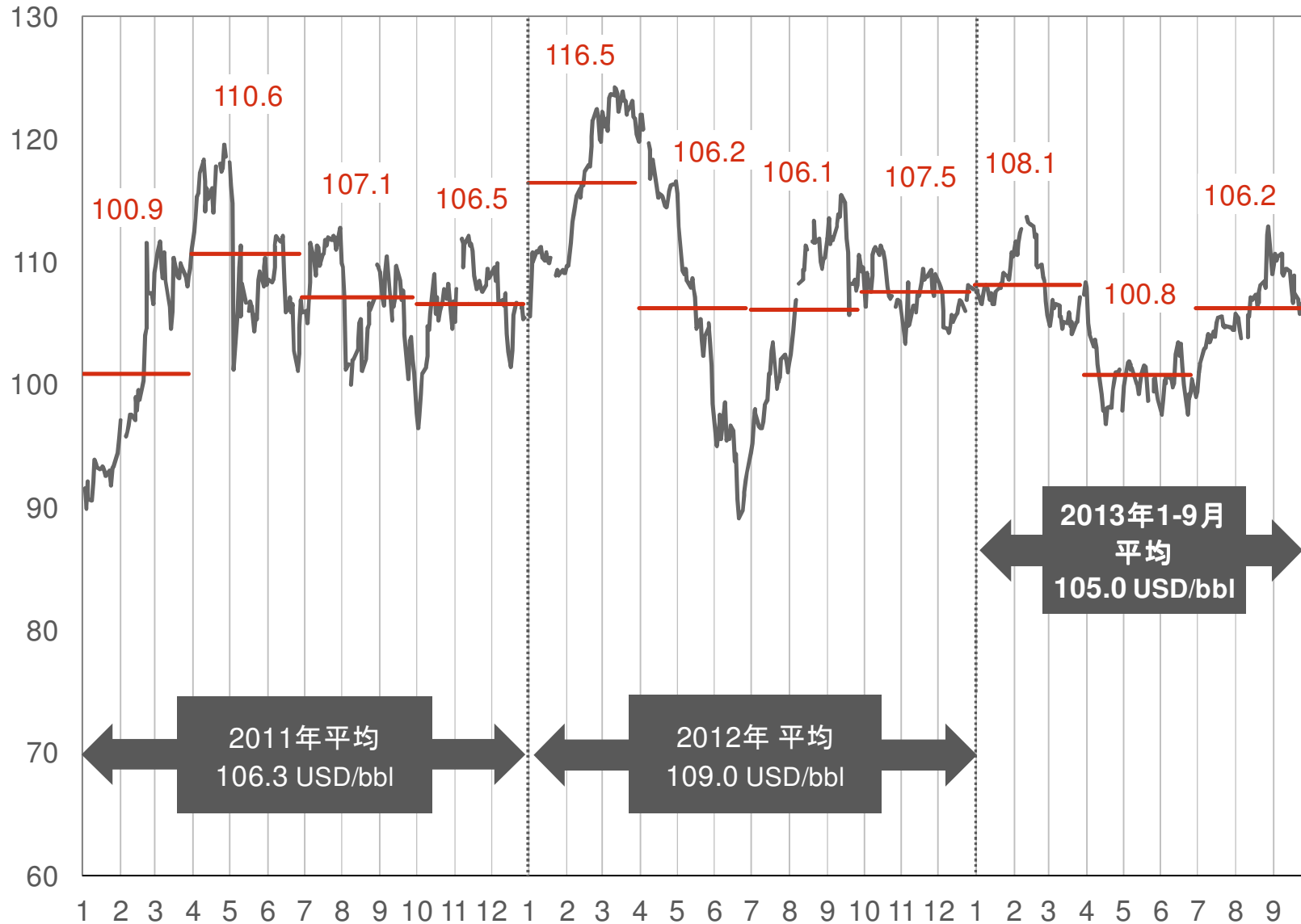
四半期別 セグメント別 営業利益の推移 (CCSベース)

億円



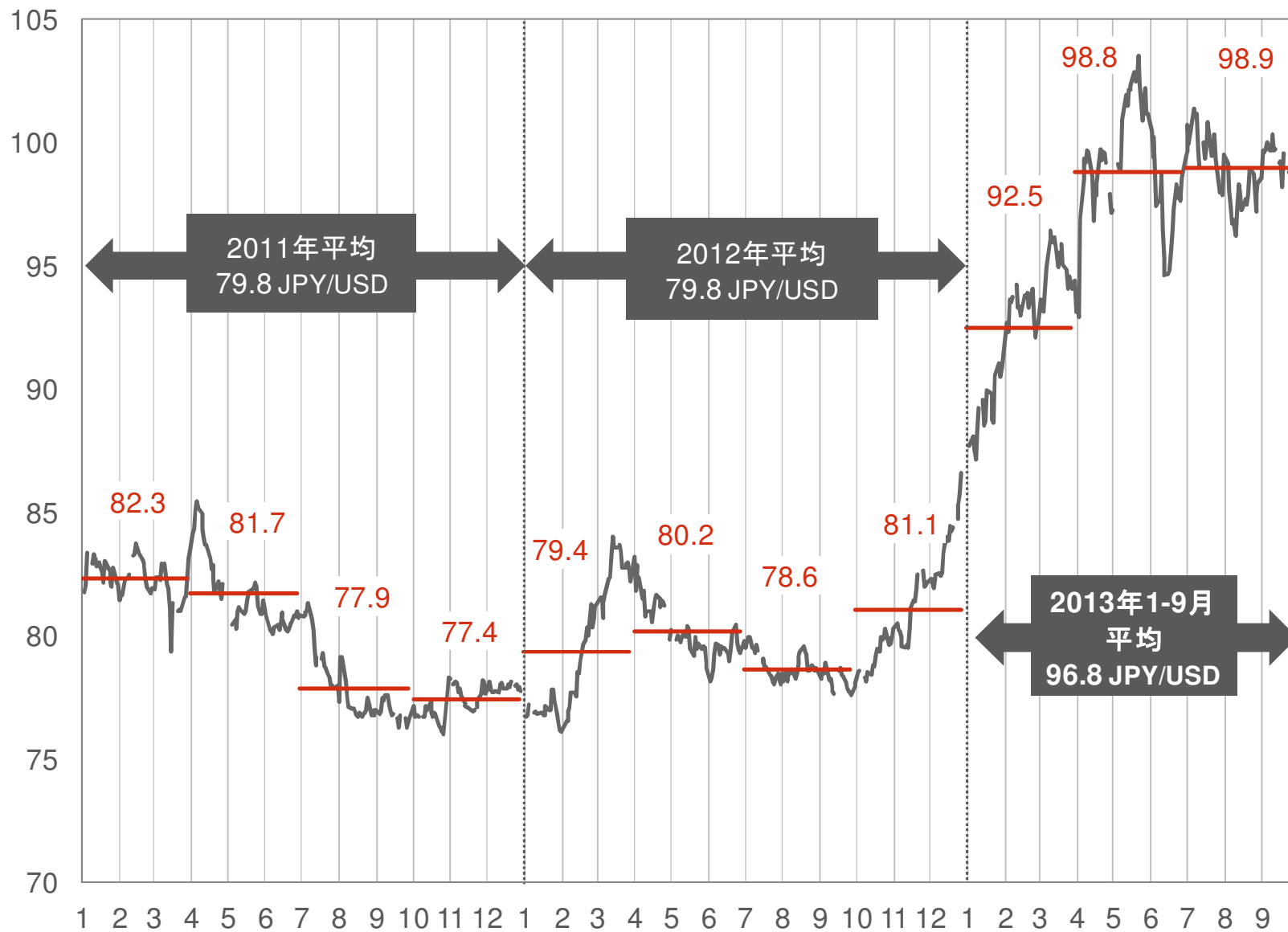
ドバイ原油価格の推移

(USD/bbl)



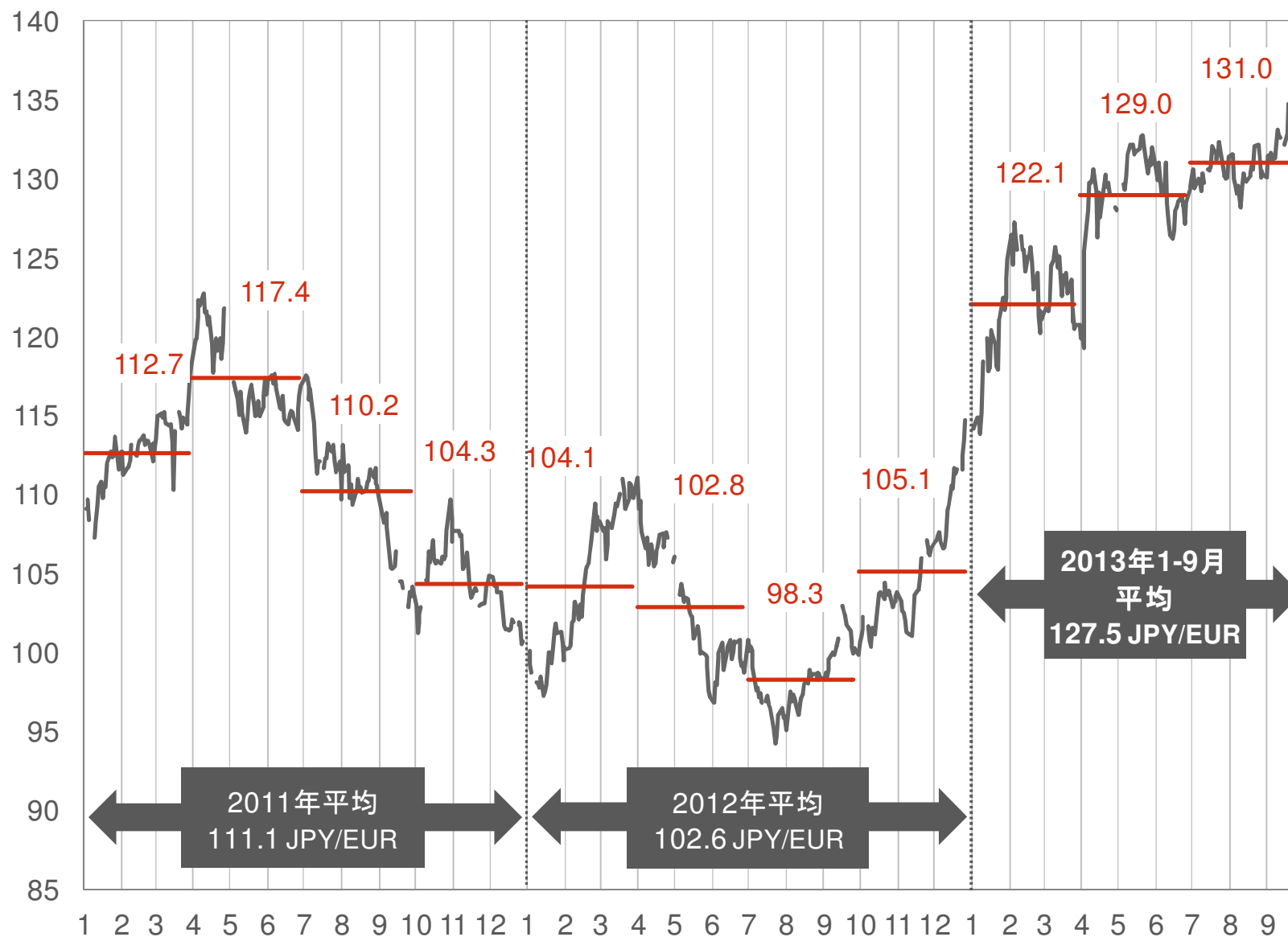
為替レートの推移 (円/アメリカドル 仲値)

(JPY/USD)



為替レートの推移 (円/ユーロ 仲値)

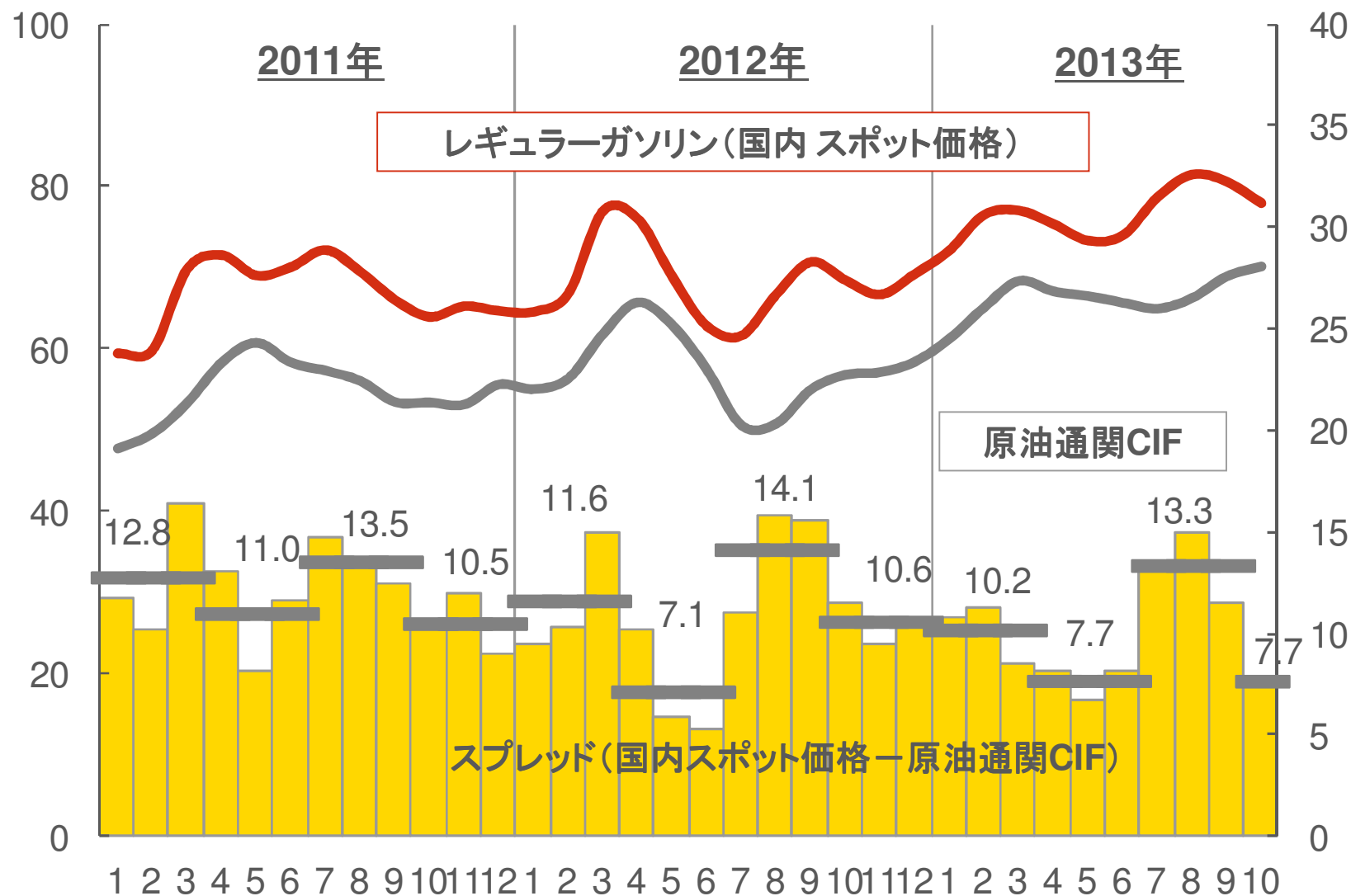
(JPY/EUR)



国内マーケットの状況① (ガソリン)

原油・製品価格 ¥/L

スプレッド ¥/L



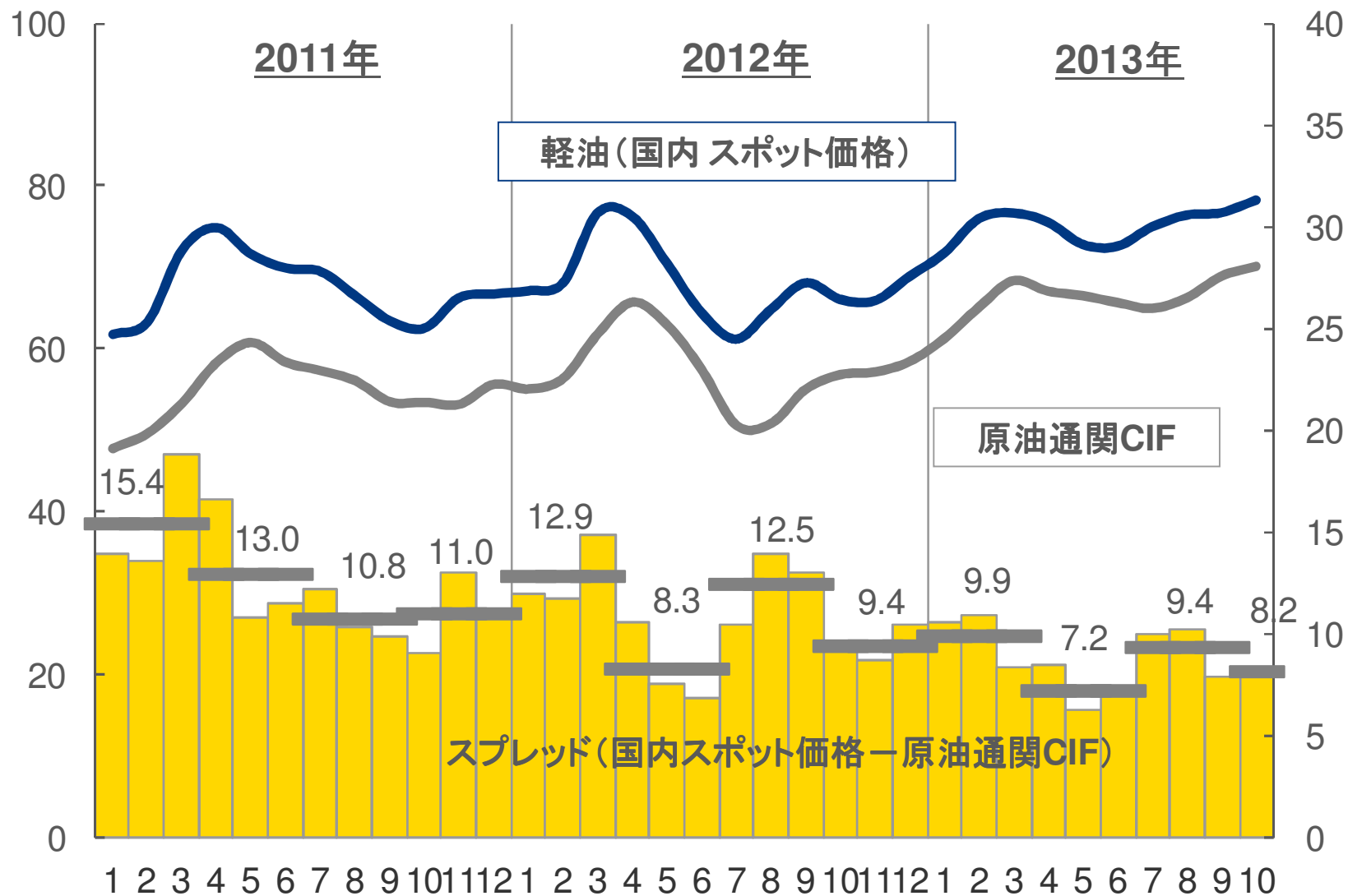
注記) 原油通関CIF: 財務省「貿易統計」より

※2013年10月の原油通関CIFは暫定値

国内マーケットの状況② (軽油)

原油・製品価格 ¥/L

スプレッド ¥/L



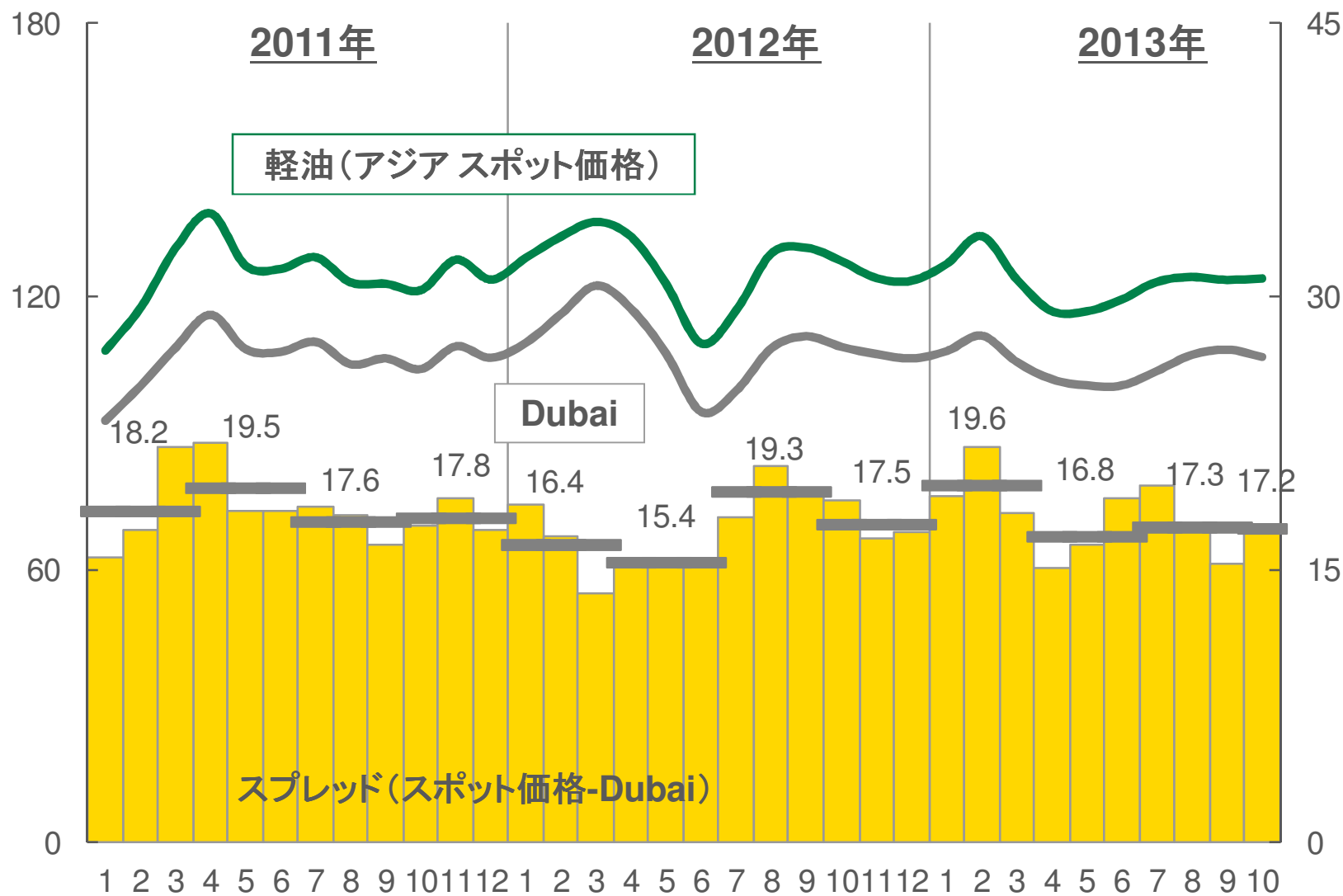
注記) 原油通関CIF: 財務省「貿易統計」より

※2013年10月の原油通関CIFは暫定値

海外マーケットの状況① (軽油)

\$/bbl

スプレッド\$/ bbl

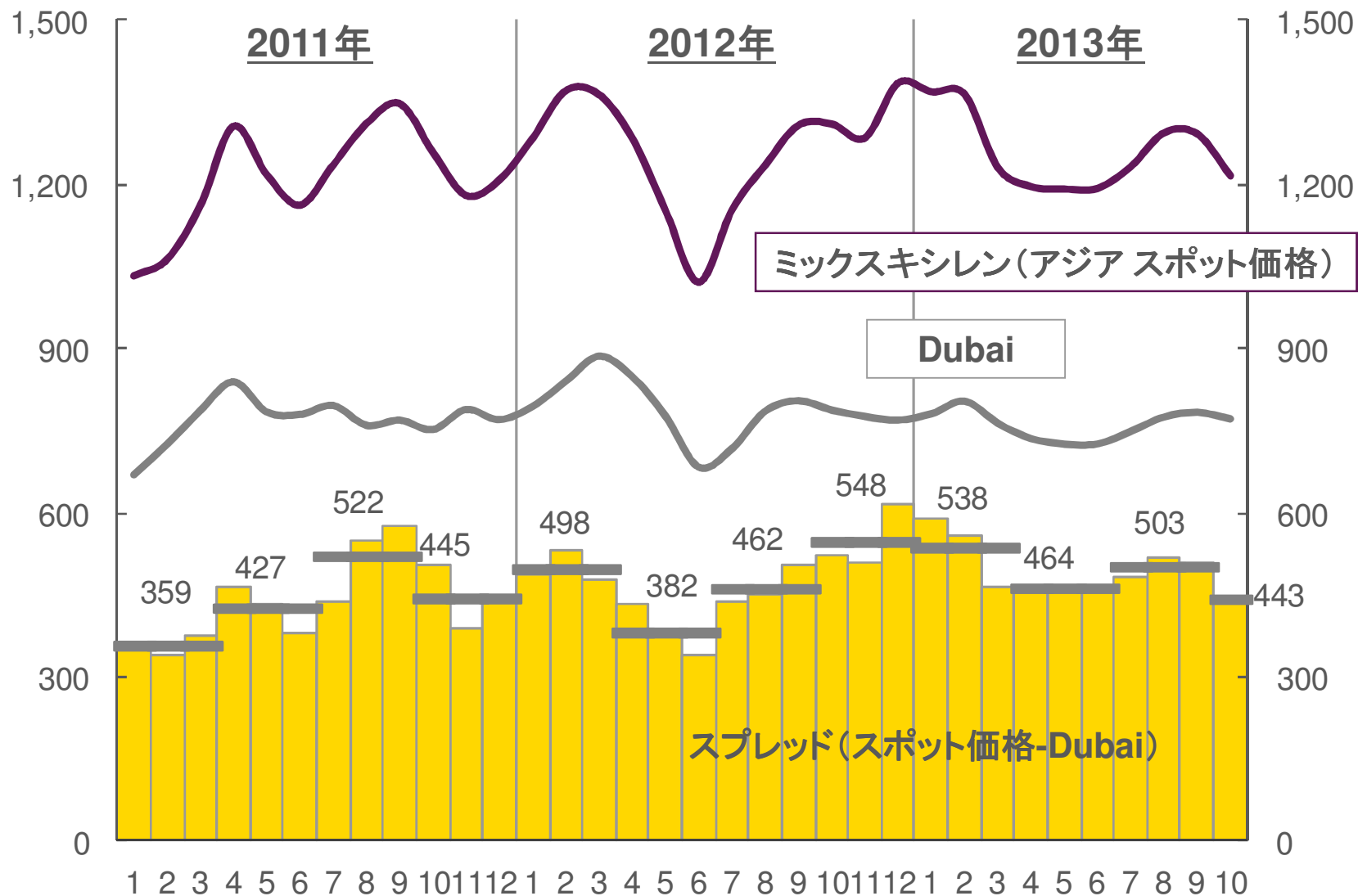


注記) Dubai: アジア向け中東産原油の基準となっているプラッツ社が発表するドバイ原油スポット価格

海外マーケットの状況②(ミックスキシレン)

\$/MT

スプレッド\$/MT



注記) Dubai: アジア向け中東産原油の基準となっているプラッツ社が発表するドバイ原油スポット価格

